

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	鹿島建設株式会社 代表取締役 天野 裕正				
事業者番号	A	1	0	2	8

2 報告する事業所等の全体の状況(2022年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	25	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	8,303	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	16,070	t
------------	--------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	☒ 義務提出事業所等	☐ 全事業所
----------	--	-------------------------------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
合計二酸化炭素排出量	14,358.00	14,007.00	13,716.00	15,114.00	16,070.00	t
合計延床面積	184,635.69	179,072.80	180,313.49	215,339.71	231,794.31	m ²
合計原単位	77.76394	78.21958	76.06751	70.18677	69.32870	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	-2.85	%
平均合計原単位改善率	2.82	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	優良	ランク
---------------------	----	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の 目標達成の状況	☒	目標達成した。
------------------	-------------------------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無
合計二酸化炭素排出量削減率	1	%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	3
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	全社として地球温暖化対策活動を推進するため、2010年来「省エネ法等自社対応WG」を関係部署で組織し、「エネルギー管理統括者」「エネルギー管理企画推進者」のもと活動している。本WGの役割は、自社オフィスと自社が所有する全建物を対象に、中長期削減計画・年度活動計画の作成並びにその達成状況の集計・評価である。前年度比1%削減を目指し、LED照明の導入等計画的に設備の効率化を図るとともに、運用におけるエネルギー削減活動を推進している。その支援ツールとして、エネルギー消費量集計・評価システム「エネマスター」を導入し、消費実態に基づく対策立案に活用している。			
組織体制の 整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A106	本社等による支店の支援	A101	地球温暖化対策の方針等の設定
	A107	排出状況の整理・分析・提供	A102	温暖化対策推進担当の配置
	A110	外部専門家への相談依頼の実施	A103	具体的な取組目標と内容の設定
	A113	推進担当者の知識向上・内部還元	A104	取組状況の点検体制の構築
			A105	取組内容や点検体制の定期的改善
			A108	組織横断的な推進体制の整備

12 特記事項

(その他対策A103に関連して) 2013年に策定した「鹿島環境ビジョン:トリプルZero2050」のうち脱炭素社会に向けた目標値を2018年、2021年、2022年に続き、2023年6月にも見直した。 2050年目標:鹿島グループの温室効果ガス排出量(スコープ1、2)をゼロに。 2030年目標:全社の温室効果ガス排出量(スコープ1、2)の原単位を2021年度比で42%以上削減する(施工量一定として総量でも42%削減に相当)。スコープ3(カテゴリ1建材製造時、カテゴリ11建物運用時)については25%削減する。 <今年度削除施設> ・0027:銀座Aビル ・0028:銀座Bビル ・0040:ヒューリック日本橋本町1丁目ビル

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	渋谷ゲストハウス										
事業所番号	A	1	0	2	8	ー	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	5	0	ー	0	0	0	2	区市町村名	渋谷区
	町名番地以下	渋谷4-1-12、13									
事業所等の延床面積	887.34		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	50	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	97	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	97	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	109.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	199,829.0	9.76	1,950.3	0.4890	97.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	^⑫ 0.0	^⑪ 9.76	0.0	0.4890	^⑬ 0.0
合 計						^⑭ 1,950.3		^⑮ 97.7	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	620.3			0.2660	0.2
	公共下水道		☒	m ³	620.3			0.4000	0.2
合 計								^⑯ 0.4	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握				B102	関連他者からの情報を加えて把握
省エネルギー対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C123	温湿度の適正管理
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C817	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	赤坂シグマタワービル									
事業所番号	A	1	0	2	8	ー	0	0	0	2
事業所等の所在地	〒	1	0	7	ー	0	0	5	2	区市町村名 港区
	町名番地以下	赤坂2-17-11								
事業所等の延床面積	5,726.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	156	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	303	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	304	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	52.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	620,063.0	9.76	6,051.8	0.4890	303.2			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	6,051.8		⑮	303.2	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,798.0				0.2660		0.7	
	公共下水道		☐	m ³	2,798.0				0.4000		1.1	
合 計										⑯	1.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
エネルギー等の 使用状況の把握				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	C133	可能な限り低い照度設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策>C808、C809、C810、C811、C813、C817

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	イーストネットビル									
事業所番号	A	1	0	2	8	ー	0	0	0	3
事業所等の所在地	〒	1	3	5	ー	0	0	1	6	区市町村名 江東区
	町名番地以下	東陽7-1-1								
事業所等の延床面積	21,136.82		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	781	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,509	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	12	t
	総計(④=②+③)	④	1,521	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	71.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	2,369,897.0	9.97	23,627.9	0.4890	1,158.9			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	716,127.0	9.28	6,645.7	0.4890	350.2			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	30,273.5		⑮	1,509.1	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	18,989.0				0.2660		5.1	
	公共下水道		☐	m ³	18,989.0				0.4000		7.6	
合 計										⑯	12.6	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C123	温湿度の適正管理
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E104	照明点灯範囲の細分化

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策>C803、C804、C810、C811、C813、C817、E105、E106、E130

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	石神井公園ピアレス 店舗									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	0	4
事業所等の所在地	〒	1	7	7	—	0	0	4	1	区市町村名
	町名番地以下	石神井町2-14-1								
事業所等の延床面積	1,287.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)									
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	76	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	149	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	149	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	115.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	305,340.1	9.76	2,980.1	0.4890	149.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	^⑫ 0.0	^⑪ 9.76	0.0	0.4890	^⑬ 0.0
合 計						^⑭ 2,980.1		^⑮ 149.3	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	79.6			0.2660	0.0
	公共下水道		☒	m ³	79.6			0.4000	0.0
合 計								^⑯ 0.1	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握				B102	関連他者からの情報を加えて把握
省エネルギー対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C133	可能な限り低い照度設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
	設備保守対策				
	設備導入対策			E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無							
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

<その他追加対策>C804、C813、C806

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	鹿島赤坂別館									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	8	3	4	8	区市町村名 港区
	町名番地以下	赤坂6-5-11								
事業所等の延床面積	18,834.83		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,025	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,989	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
	総計(④=②+③)	④	1,998	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	105.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	2,895,452.0	9.97	28,867.7	0.4890	1,415.9			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	1,172,241.0	9.28	10,878.4	0.4890	573.2			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	39,746.1		⑮	1,989.1	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	14,446.0				0.2660	3.8		
	公共下水道		☐	m ³	14,446.0				0.4000	5.8		
合 計									⑯	9.6		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A203	具体的な取組目標と内容の設定
				A204	取組状況の点検体制の構築
				A205	取組内容や点検体制の定期的改善
エネルギー等の 使用状況の把握		B104	設備ごとに詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策			D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策> A206、A208、B105、B107、C117、C129、C803、C804、C810、E136、E140

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ペアホースビル									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	0	7
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	5	2	区市町村名 港区
	町名番地以下	赤坂6-5-16								
事業所等の延床面積	2,755.15		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	141	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	274	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	276	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	99.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	1,810.5	45.00	81.5	0.0136	4.1			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	553,143.0	9.76	5,398.7	0.4890	270.5			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	5,480.2		⑮	274.5	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,136.0				0.2660	0.8		
	公共下水道		☐	m ³	3,136.0				0.4000	1.3		
合 計									⑯	2.1		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

2020年度ELV更新工事実施
 <その他追加>
 C132、C114、C115、C120、C121、C129、C801、C813、C814、C817

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	飛田給研究センター										
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	0	8	
事業所等の所在地	〒	1	8	2	—	0	0	3	6	区市町村名	調布市
	町名番地以下	飛田給2-19-1									
事業所等の延床面積	18,839.94		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	556	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,081	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	1,085	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	57.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	21,581.5	45.00	971.2	0.0136	48.4			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	1,463,706.0	9.97	14,593.1	0.4890	715.8			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	648,221.0	9.28	6,015.5	0.4890	317.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	21,579.8		⑮	1,081.2	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,606.0				0.2660		1.8	
	公共下水道		☐	m ³	6,606.0				0.4000		2.6	
合 計										⑯	4.4	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	CB46	受電力率の把握・記録	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E140	BEMSの導入
				E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策>B107、C117、C120

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	人形町センタービル									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	1	1
事業所等の所在地	〒	1	0	3	—	0	0	1	3	区市町村名 中央区
	町名番地以下	日本橋人形町1-4-10								
事業所等の延床面積	2,017.18		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	61	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	119	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	119	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	58.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	243,398.4	9.76	2,375.6	0.4890	119.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	2,375.6		⑮	119.0	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	1,293.3				0.2660		0.3	
	公共下水道		☒	m ³	1,293.3				0.4000		0.5	
合 計										⑯	0.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無							
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	銀座イーストビル									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	1	5
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	6	1	区市町村名 中央区
	町名番地以下	銀座7-16-14								
事業所等の延床面積	1,832.97		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	45	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	87	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	11	t
	総計(④=②+③)	④	98	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	47.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	179,331.3	9.76	1,750.3	0.4890	87.7			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	1,750.3		⑮	87.7	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	17,233.1				0.2660		4.6	
	公共下水道		☒	m ³	17,233.1				0.4000		6.9	
合 計										⑯	11.5	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A403	中央熱源方式の空調使用量の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	赤坂ビル											
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	1	6		
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	5	2	区市町村名 港区		
	町名番地以下	赤坂4-13-13										
事業所等の延床面積	7,057.71			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	306	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	594	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	595	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	84.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	893,572.0	9.97	8,908.9	0.4890	437.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	322,218.0	9.28	2,990.2	0.4890	157.6
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	⑬
合 計						⑭ 11,899.1		⑮ 594.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,232.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,232.0			0.4000	0.9
合 計								⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策			C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C123	温湿度の適正管理
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
				C808	温湿度の適正管理
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策>C813、C817、C806

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ディアマークスキャピタルタワー 店舗											
事業所番号	A	1	0	2	8	ー	0	0	1	8		
事業所等の所在地	〒	1	7	6	ー	0	0	1	2	区市町村名 練馬区		
	町名番地以下	豊玉北6-2-1										
事業所等の延床面積	337.90			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)											
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	94	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	183	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	183	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	541.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	375,862.8	9.76	3,668.4	0.4890	183.8			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	3,668.4		⑮	183.8	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	20.9				0.2660	0.0		
	公共下水道		☒	m ³	20.9				0.4000	0.0		
合 計									⑯	0.0		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A405	ビル全体の推進体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握				B102	関連他者からの情報を加えて把握
省エネルギー対策	運用対策	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C802	階段照明の管理手法の検討・実施	C105	昼休み時の消灯の実施
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C123	温湿度の適正管理
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C817	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無							
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

<その他追加対策>C806

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新高円寺ツインビル										
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	1	9	
事業所等の所在地	〒	1	6	6	—	0	0	1	1	区市町村名	杉並区
	町名番地以下	梅里1-7-7									
事業所等の延床面積	8,098.33		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	252	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	489	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	491	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	1,001,789.3	9.76	9,777.5	0.4890	489.9			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	9,777.5		⑮	489.9	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	3,578.5				0.2660	1.0		
	公共下水道		☒	m ³	3,578.5				0.4000	1.4		
合 計										⑯	2.4	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握				B102	関連他者からの情報を加えて把握
省エネルギー 対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C123	温湿度の適正管理
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E139	進相コンデンサ等による力率改善		

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策>C806、C810、C813、C814

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	八重洲鹿島ビルディング									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	2	1
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	2	8	区市町村名 中央区
	町名番地以下	八重洲2-5-1								
事業所等の延床面積	9,170.80			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満	
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	381	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	730	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	733	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	79.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	436.0	45.00	19.6	0.0136	1.0		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	1,323,506.0	9.97	13,195.4	0.4890	647.2		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	168,660.0	9.28	1,565.2	0.4890	82.5		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	14,780.1		⑮	730.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,786.0				0.2660	1.3	
	公共下水道		☐	m ³	4,786.0				0.4000	1.9	
合 計										⑯	3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C123	温湿度の適正管理
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E139	進相コンデンサ等による力率改善	E125	高輝度誘導灯の導入
				E132	エアカーテンの設置

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策>B107、C120、C813、C803、C806、C808、C810

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	鹿島本社ビル									
事業所番号	A	1	0	2	8	ー	0	0	2	2
事業所等の所在地	〒	1	0	7	ー	8	3	8	8	区市町村名 港区
	町名番地以下	元赤坂1-3-1								
事業所等の延床面積	15,162.91		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	666	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,293	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	1,301	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	85.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	5,187.1	45.00	233.4	0.0136	11.6		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	1,831,914.0	9.97	18,264.2	0.4890	895.8		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	789,318.0	9.28	7,324.9	0.4890	386.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	25,822.5		⑮	1,293.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	12,569.0				0.2660		3.3
	公共下水道		☐	m ³	12,569.0				0.4000		5.0
合 計										⑯	8.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A203	具体的な取組目標と内容の設定
				A204	取組状況の点検体制の構築
				A205	取組内容や点検体制の定期的改善
エネルギー等の 使用状況の把握		B104	設備ごとに詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー 対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C133	可能な限り低い照度設定
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策> A206、A208、C114、C115、C116、C117

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西調布実験場									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	2	5
事業所等の所在地	〒182-0025 区市町村名 調布市									
	町名番地以下 多摩川1-36-1									
事業所等の延床面積	29,629.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店	☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,074	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,095	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	2,102	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	70.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	54,682.7	45.00	2,460.7	0.0136	122.7		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	2,700.0	36.70	99.1	0.0185	6.7		
	その他 (A重油)		☐	L	2,400.0	39.10	93.8	0.0189	6.5		
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	2,610,294.0	9.97	26,024.6	0.4890	1,276.4		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	1,396,641.0	9.28	12,960.8	0.4890	683.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	41,639.1		⑮	2,095.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	11,235.0				0.2660		3.0
	公共下水道		☐	m ³	11,235.0				0.4000		4.5
合 計										⑯	7.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策> B107、C120、C128、CB48、CB50、E136、E137

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	安全ビル										
事業所番号	A	1	0	2	8	ー	0	0	2	9	
事業所等の所在地	〒	1	0	7	ー	0	0	5	1	区市町村名	港区
	町名番地以下	元赤坂1-6-6									
事業所等の延床面積	807.08			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	61	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	61	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	75.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	124,914.7	9.76	1,219.2	0.4890	61.1			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	1,219.2		⑮	61.1	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	611.5				0.2660		0.2	
	公共下水道		☒	m ³	611.5				0.4000		0.2	
合 計										⑯	0.4	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C127	看板照時点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策>C801、C803、C804、C810、C813

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	K-Frontビル									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	3	1
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	5	1	区市町村名 港区
	町名番地以下	元赤坂1-3-9								
事業所等の延床面積	1,389.73		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	78	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	152	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	152	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	109.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	311,785.0	9.76	3,043.0	0.4890	152.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 3,043.0		⑮ 152.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	801.0			0.2660	0.2
	公共下水道		☐	m ³	801.0			0.4000	0.3
合 計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C802	階段照明の管理手法の検討・実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E139	進相コンデンサ等による力率改善	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無							
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日本橋浜町Kビル										
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	3	2	
事業所等の所在地	〒	1	0	3	—	0	0	0	7	区市町村名	中央区
	町名番地以下	日本橋浜町2-62-6									
事業所等の延床面積	9,241.13			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	446	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	866	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	869	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	93.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	85,159.4	45.00	3,832.2	0.0136	191.1
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,381,040.0	9.76	13,479.0	0.4890	675.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 17,311.1		⑮ 866.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,772.0			0.2660	1.5
	公共下水道	☐	m ³	5,772.0			0.4000	2.3
合 計								⑯ 3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A405	ビル全体の推進体制の整備	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B108	エネルギー等情報の対策への活用	B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C112	季節に応じた外気導入量の適正化	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	C109	空室・不在時等の空調停止
		C802	階段照明の管理手法の検討・実施	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C805	中央熱源機器等の季節設定実施
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策			D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E129	全熱交換器の導入
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	KTビル										
事業所番号	A	1	0	2	8	ー	0	0	3	3	
事業所等の所在地	〒	1	0	7	ー	2	4	9	1	区市町村名	港区
	町名番地以下	元赤坂1-3-8									
事業所等の延床面積	11,791.87			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店	☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	350	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	682	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	685	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	57.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	944,537.0	9.97	9,417.0	0.4890	461.9
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	450,671.0	9.28	4,182.2	0.4890	220.4
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	^⑫ 0.0	^⑪ 9.76	0.0	0.4890	^⑬ 0.0
合 計							^⑭ 13,599.3		^⑮ 682.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,198.0			0.2660	1.4
	公共下水道		☐	m ³	6,211.0			0.4000	2.5
合 計									^⑯ 3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A203	具体的な取組目標と内容の設定
				A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B103	時間的に詳細に把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C123	温湿度の適正管理
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
		E139	進相コンデンサ等による力率改善	E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他追加対策>B106、C115、C808、E126、E111、E130、E135、E140

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	池袋ルミエールビル										
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	3	5	
事業所等の所在地	〒	1	7	1	—	0	0	2	1	区市町村名	豊島区
	町名番地以下	西池袋1-17-7									
事業所等の延床面積	1,918.06			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)										
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	120	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	233	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	236	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	121.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	11,823.2	45.00	532.0	0.0136	26.5			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	424,114.0	9.76	4,139.4	0.4890	207.4			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	4,671.4		⑮	233.9	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,588.0				0.2660	1.2		
	公共下水道		☐	m ³	4,588.0				0.4000	1.8		
合 計										⑯	3.1	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A405	ビル全体の推進体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B104	設備ごとに詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C815	看板照明点灯時間の季節別管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ビル共用部において、空調設備・給湯は使用しておりません
 <その他追加対策>B107

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	メルクマール京王笹塚									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	3	6
事業所等の所在地	〒	1	5	1	—	0	0	7	3	区市町村名 渋谷区
	町名番地以下	笹塚1-47-1								
事業所等の延床面積	5,874.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満	
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	207	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	403	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	403	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh		0.0	9.28	0.0	0.4890
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	825,122.0	9.76	8,053.2	0.4890	403.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	^⑫ 0.0	^⑪ 9.76	0.0	0.4890	^⑬ 0.0
合 計							^⑭ 8,053.2		^⑮ 403.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	211.0			0.2660	0.1
	公共下水道		☐	m ³	211.0			0.4000	0.1
合 計									^⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A405	ビル全体の推進体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A403	中央熱源方式の空調使用量の提供
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	C123	温湿度の適正管理
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C817	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E140	BEMSの導入

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

【ビル側での取組ではないが、テナントの自主的な取組み】①一部テナントは、昼休憩時に照明の消灯を実施。②一部テナントは、空調のゾーニング図で空調機の範囲を図示。③空調機の効率化を図るため、外調機の詳細な設定により冷房効率を改善。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	六本木和幸ビル									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	3	7
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	3	2	区市町村名 港区
	町名番地以下	六本木4-8-5								
事業所等の延床面積	1,240.69			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満	
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	37	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	73	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	73	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	58.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	150,742.8	9.76	1,471.2	0.4890	73.7			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	1,471.2		⑮	73.7	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	1,045.6				0.2660		0.3	
	公共下水道		☒	m ³	1,045.6				0.4000		0.4	
合 計										⑯	0.7	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

<その他追加対策> B106

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ホテルグランバツハ東京銀座									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	3	8
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	6	1	区市町村名 中央区
	町名番地以下	銀座5-13-12								
事業所等の延床面積	8,484.02		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点	今年度追加施設									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	375	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	729	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	10	t
	総計(④=②+③)	④	739	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	85.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	43,268.4	45.00	1,947.1	0.0136	97.1
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,293,326.0	9.76	12,622.9	0.4890	632.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 14,569.9		⑮ 729.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	15,862.0			0.2660	4.2
	公共下水道	☐	m ³	15,862.0			0.4000	6.3
合 計								⑯ 10.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A405	ビル全体の推進体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A403	中央熱源方式の空調使用量の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B108	エネルギー等情報の対策への活用	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策			C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E130	全熱交換器の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E135	エレベータのインバータ制御
		E139	進相コンデンサ等による力率改善		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

A404、A406、B106、B107

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	KD南青山ビル									
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	3	9
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	2	区市町村名 港区
	町名番地以下	南青山3-31-1								
事業所等の延床面積	18,720.59			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満	
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点	今年度追加施設									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	591	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	1,148	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	108,484.8	45.00	4,881.8	0.0136	243.4			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	1,470,265.0	9.97	14,658.5	0.4890	719.0			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	364,575.0	9.28	3,383.3	0.4890	178.3			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬	0.0
合 計							⑭	22,923.6		⑮	1,140.7	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	13,085.7				0.2660		3.5	
	公共下水道		☒	m ³	13,085.7				0.4000		5.2	
合 計										⑯	8.7	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A405	ビル全体の推進体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B108	エネルギー等情報の対策への活用	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C802	階段照明の管理手法の検討・実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C815	看板照明点灯時間の季節別管理	C109	空室・不在時等の空調停止
		C818	エレベータ運転台数の制限	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D106	ボイラ等の定期点検の実施
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E139	進相コンデンサ等による力率改善	E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

B107、C121、C128、C129、C130、C803、C804、C805、C808、C810、C814、C816、C817、C806、E127、E122、E133、E135、E136、E140

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヒューリック日本橋本町1丁目ビル										
事業所番号	A	1	0	2	8	ー	0	0	4	0	
事業所等の所在地	〒	1	0	3	ー	0	0	2	3	区市町村名	中央区
	町名番地以下	日本橋本町1-6-1									
事業所等の延床面積	9,869.38			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	16	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	32	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	32	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	3.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 (産業用以外の蒸気)		☐	MJ	0.0	1.36	0.0	0.0600	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	50,662.0	9.97	505.1	0.4890	24.8
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	16,342.0	9.28	151.7	0.4890	8.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	^⑫ 0.0	^⑪ 9.76	0.0	0.4890	^⑬ 0.0
合 計							^⑭ 656.8		^⑮ 32.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	1,379.7			0.2660	0.4
	公共下水道		☒	m ³	1,379.7			0.4000	0.6
合 計									^⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無							
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	KIビル											
事業所番号	A	1	0	2	8	—	0	0	4	1		
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	8	5	0	2	区市町村名 港区		
	町名番地以下	赤坂6-5-30										
事業所等の延床面積	29,553.26			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☐ 1年度分 ☒ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)											
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	0	6	0	0	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点	今年度追加施設											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	219	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	423	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	428	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	14.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	2,792.9	45.00	125.7	0.0136	6.3
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		5,258,402.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	669,322.0	9.97	6,673.1	0.4890	327.3
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	184,489.0	9.28	1,712.1	0.4890	90.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭ 8,510.9		⑮ 423.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	8,662.6			0.2660	2.3
	公共下水道	☐	m ³	8,662.6			0.4000	3.5
合 計								⑯ 5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D106	ボイラ等の定期点検の実施
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E139	進相コンデンサ等による力率改善	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	KIビル														
事業所番号	U	0	1	3	7	—	0	6	5	2					
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	8	5	0	2	区市町村名		港区			
	町名番地以下	赤坂六丁目5番30号													
事業所等の延床面積	29,553.26				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	687	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,269	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	12	t
	総計(④=②+③)	④	1,281	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,813.7	45.00	216.6	0.0136	10.8
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(産業用以外の蒸気)	☐	MJ	7,189,198.0	1.36	9,777.3	0.0600	431.4
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	1,351,914.0	9.97	13,478.6	0.4890	661.1
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	340,807.0	9.28	3,162.7	0.4890	166.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計						⑭ 26,635.2		⑮ 1,269.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	18,714.4			0.2660	5.0
	公共下水道	☐	m ³	18,714.4			0.4000	7.5
合 計								⑯ 12.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策			C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

<その他対策事項>E137

